

【科目名】生活支援と園芸療法		
【期 別】 後期（9～2月）	【区 分】 必修	【種 別】 講義
【単位・コマ数】 2単位・15コマ	【時間数】 22.5	
【主任教員】 ○金子 みどり（5） ○は成績評価者		
【分担教員】 ○寺田 裕美子（3） 岡野 裕（2） 金子 敦子（3） 秦 政（1） 福田久美子（1）○は成績評価者		
【授業のねらい】 急性期医療からの回復期やノーマライゼーションに向かうクライアントの理解と園芸療法による支援に必要な知識・技術を身につける。		
【担当教員】	【授業予定】	
金子 みどり 12/2（土）1-5限	・ 急性期医療からの回復期までの各期における対象者の心身の理解 ・ 障害者心理について ・ 社会参加について	
岡野 裕 12/9（土）1-2限	高齢者・障害者の心身の特性を踏まえて 介護保険施設やリハビリテーション病院における園芸療法の活用方法の紹介 園芸療法の特長を活かすための物的あるいは人的環境について学ぶ	
寺田 裕美子 12/9（土）3-5限	病や障がい・高齢であるが故におこる、二次的な心身および社会的障がいに焦点をあてた園芸療法士のサポート方法について事例から学ぶ 1) 病・障がい特性、生活の場の特性、こころの特性の共有 2) クライアントの「できる→わかる→したい」を引き出す 3) 多様かつ柔軟的な関わり方を共有する 4) プログラムを行う庭・場の環境効果を活かす 5) 植物との継続・習慣的な関わりを生活に取り入れる 6) 植物を介した社会的な関わりをデザインする 7) 園芸に没頭するが故に起こるこころのリスクへの対応	
秦 政 福田 久美子 12/16（土）1-2限	障害者の就労支援 その1 日本の法制度と雇用の現況 ① 日本の障害者雇用制度と現況の理解 ② 海外諸国の制度との比較 ③ 障害者の権利条約に盛り込まれる概念とは ④ 障害者雇用の現状に見られる課題と対応 ⑤ 働く障害者側に見られる特徴と変化 障害者の就労支援 その2 知的障がい者の雇用をはじめて ① 体制整備と職場環境の改善 ② 働く人々に着目した経営「人と環境とのつながりを大切にしたい社会づくり」 ③ 顧客サービスではじめたホームレス雇用 ④ 福祉施設における新たなサービス ⑤ 知的障がい者の雇用からパークマネジメントへ	
金子 敦子 12/16（土）3-5限	・ 精神科分野における回復段階に応じた作業療法の実際（講義） ・ 園芸療法士のアプローチを考える（グループワーク）	

【参考図書】	
寺田 裕美子：	・「ひとと集団・場 第2版」（山根寛他、三輪書店、2007年、3,564円） 7.作業療法における集団プログラムの実際、P120-P159 ・「地球の庭を耕すと」（ジム・ノルマン、工作舎、1994年、1,957円） ・「植物と人間の絆」（チャールズ・A・ルイス、創森社、2014年、1,800円） ・HP 内閣府 共生社会政策 http://www8.cao.go.jp/souki/index.html（※読み切れない場合は、授業後でもかまいません。園芸療法の全体像をとらえながら学ぶために）
秦 政：	・「就業支援ハンドブック」（独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構） ・「職業リハビリテーション学」（協同医書出版社） ・「厚労省【障害者雇用状況の集計結果】いわゆる6・1調査のデータ」
金子 敦子：	・「精神障害と作業療法 第4版」（山根寛、三輪書店、2017年、4,320円）
【予習課題】	
寺田 裕美子：	1) 参考図書を読む。 2) 病や障がいを持ちながらも、地域で生き生きと生活できている人がいる、健康に問題がないにも関わらず、心身や社会的障がい状況になることがある。上記について、それはなぜか、考えておく。
金子 敦子：	1) 「精神障害と作業療法第3版」の「7.1基本原則」、「7.2統合失調症と作業療法」および「7.3気分障害（躁うつ病）と作業療法」（P230～P246）を読む。 2) 「7.2.3作業療法の支援」における各病期（亜急性期、回復期前期・後期、維持期に適した園芸作業の用い方を考えてレポートにまとめる。
【成績評価の方法】	
金子 みどり：	出席状況、レポート内容
寺田 裕美子：	出席状況、レポート内容
【受講生への希望】	
金子 みどり：	授業では、各自の経験を積極的に発言し、みんなで共有しましょう。
岡野 裕：	授業では、各人の意見を積極的に発言していただき、学びを深めたいと思います。
金子 敦子：	予習課題は考えられる範囲で結構です。当日分かち合いましょう。 レポートの提出は12/5（火）までにTAへ。
寺田 裕美子：	授業では、園芸療法ならではの生活支援について意見交換できる時間としたい。